

平成29年度京都府中丹地域戦略会議開催結果（概要版）

- 1 日 時 平成29年8月3日（木） 15時00分～16時30分
- 2 場 所 京 綾部ホテル 「白梅」
- 3 出席者
 - 【委 員】出席9名（欠席3名）
 - 【オブザーバ】各市企画担当部課長
 - 【中丹振興局】野村局長、稲村副局長、高屋企画総務部長、常盤健康福祉部長、嵯峨根農林商工部長、小林建設部長、岡島港湾局港湾企画課長 他
- 4 主な意見等
 - 《観光誘客等》
 - ・「森の京都」各スポットへのアクセスやルートの整備が進んでいないところが多く整備が課題。また見どころとなる自然環境をまとめたマップなどの整備やネイチャーガイドなどの人材育成が必要。
 - ・宿泊施設が不足する京都市内から北部に誘導する取り組みが必要。
 - ・欧米系の旅行者は歩くのが好きで1日30kmを移動することもあることから、この地域を通るコースをつくれれば外国人に売り込める。
 - ・自転車をそのまま電車に積めるようなサービスの実現を。
 - ・民宿がビジネスとして継続するような取り組みが必要。
 - 《物流》
 - ・物流の結節点である中丹地域のネットワークの拡充、特に国際埠頭の二期工事の早期事業化を。
 - 《外国人居住者対策》
 - ・人手不足から外国人労働者が地域に増加してきており、外国人向けの日本語教室など地域の取り組みに対するサポートを。
 - 《ブランド野菜》
 - ・ブランド野菜の海外展開はまだまだ可能性がある。
 - 《原子力政策・原子力防災対策》
 - ・原子力発電所を停止させる方向での取り組みを進めるべき。
 - ・自然災害など複合的な要因で発生する原発事故を想定した安全対策の強化が必要。
 - ・原発隣接地域として事故発生時の不安が拭えないので、現実的な避難計画を策定する必要がある。
 - 《防災対策等》
 - ・丹後大震災から90年を迎える中で、地震への対策も必要。
 - ・災害対応にも必要となる建設業の健全な育成と担い手の確保が必要。
 - 《福祉》
 - ・障害者福祉はメンタル面でのケアが課題。引き続き行政の支援を。